

働き方改革元年 どうなる？5年後の経理・財務部門

650人のCFO/CEO、
経理・財務部門リーダーが描く

「日本の5年後の職場・働く姿」

業務がテクノロジーに
置き換わっていると思う

業務に人工知能が
使われていると思う

メンタルに悩む社員が
増えていると思う

51%

37%

39%

バーチャルオフィス・
ホームオフィスが一般的に

女性役員・管理職が
劇的に増えていると思う

外国人管理職が
増えていると思う

35%

25%

22%

ビッグデータや人工知能を活用して、予測業務の精度を高め、リスクヘッジの効率を高めている。

| 製造業、経理・財務、部長/局長 |

人間は判断が必要な業務にシフトし、付加価値が低い社員はリストラ対象に。

| 通信業、経営企画、管理職 |

高度な知識や能力を身に付けておかないと、現在の給与で就業できる業務が減少。

| 商社・卸売、経理・財務、CFO |

残業時間の削減は進展せず、非効率な業務が続く。

| 会計士・税理士事務所、CEO |

激変する業務環境の中、
今後も活躍できる人材であるために

「最も高めていくべき能力」

未来を予測して
ビジョンを示す力

人を育てる力

人と人との結び付け
事を成す力

40%

40%

28%

謙虚に聞く耳を持つ力

良い問い合わせをする力

生産性を高める力

22%

21%

16%

スキルアップと同時に洞察力の強化。

| 商社・卸売、IR、管理職 |

事業を判断できる資格、能力開発に対応していく。

| 製造業、経理・財務、管理職 |

高度な判断ができる力を身につける。

| 製造業、経理・財務、CFO |

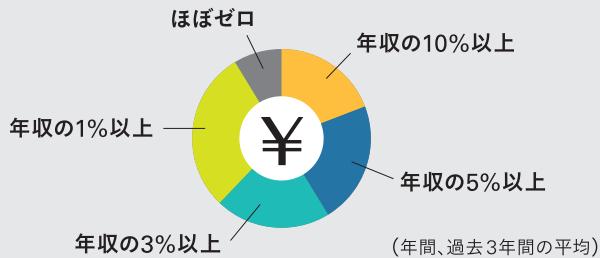
担当部門のみに限らず、すべての社員が情報分野に関心を持つ。

| 商社・卸売、経理・財務、CFO |

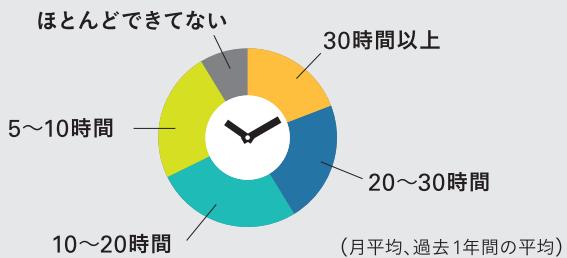
自分の価値を高めなければ生き残れない時代。

あなたは、価値向上、スキル向上に向けた活動を十分できていますか？

自分の価値・スキル強化のために使う お金



自分の価値・スキル強化のために使う 時間



デジタルテクノロジーの進化は、私たちの働き方をどう変えるのか！

「デジタル化は完全にファイナンス部門の役割を変えることになる」

— Safra Catz, Oracle CEO

「2025年までに、全世界で1億人以上の知的労働者、もしくは1/3の仕事がRPA(ロボティクスによる業務自動化)によって置き換わる」

— McKinsey Global Institute Disruptive technologies: Advances that will transform life, business and the global economy. May 2013

経理・財務部門の働き方に革新を起こすデジタルテクノロジー

■ ERPとBIの連携に基づくリアルタイムな予実管理

ERP BI

■ 人工知能(AI)による自動学習、将来予測、意思決定へのアドバイス

AI

■ RPA(ロボティクスによるオペレーションの自動化)

RPA

■ クラウドコンピューティング、超高速処理等による管理コスト削減

CLOUD

► デジタルテクノロジーが及ぼすインパクト

— 日本CFO協会会員を主体とした日本企業の財務幹部の意見 —

スピード向上
(決算早期化、リアルタイム・レポートинг等)

影響あり
93%

業務遂行体制の変化
(シェアードサービス化、Center of Excellence等)

影響あり
93%

会計数値の品質向上、
トレーサビリティ向上

影響あり
89%

業務工数、
必要人員の大幅な削減

影響あり
89%

約半数の財務幹部が、これらの変化が「1~3年先に現実になる」と回答

► デジタルテクノロジーの活用領域



「デジタルテクノロジーを有効に活用するための鍵は…」

最新テクノロジーや活用事例に関する情報収集

96%

同じ課題、悩みを持つ企業とのネットワークづくり

87%

► 最新動向は、www.cfo.jp をご確認ください！